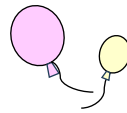


そらたかく



長岡小学校校長室だより
第1号
令和8年4月13日

『そらたかく』

校長 滝藤 友美

色とりどりの花が咲き、子どもたちの入学・進級を祝っています。令和8年度も、どうぞよろしくお願いたします。

本年度は、12名の1年生を迎え、児童数81名でスタートしました。4月9日は、子どもたちに久しぶりに会うことができ、ほっとしました。また、子どもたちの爽やかな挨拶を聞くことができ、元気をもらいました。新年度がスタートし、子どもたちはやる気に満ちあふれています。この気持ちを大切にしながら、令和8年度の教育活動を進めていきたいと思ひます。1学期始業式では、子どもたちに以下の内容で話をしました。

[始業式の校長の話より一部抜粋]

新年度が始まり、「4月からはこれがんばろう」という気持ちで登校した人も多しと思ひます。私からも、皆さんに特に大切に生活してほしいことを5つ話します。よく考えながら聞いてください。

①『そっせんした行動』

『率先した行動』とは、「自分から進んで行動すること」です。学校では、学習やさまざまな活動があります。進んでやりたいこともあれば、「誰かがやってくれるといいなあ」と人任せにしたいこともあると思ひます。しかし、皆さんには、「自分や自分たちで考えよう。やってみよう」という前向きな気持ちで、いろいろなことに率先して取り組んでほしいです。

②『らんまんな笑顔』

『らんまんな笑顔』とは、「光り輝く笑顔」ということです。元気に挨拶ができると、爽やかな笑顔になります。正直に行動できると、明るい笑顔になります。人を思いやることができると、優しい笑顔になります。このような素敵な笑顔が、たくさん見られることを願っています。

③『たいせつにする関わり』

『たいせつにする関わり』とは、「周りの人との関わりを大切に、たくさんのかことを学ぶこと」です。学校は、たくさんのか人と長い時間を過ごす場所です。お互いに助け合って生活できるとよいです。また、自分の考えを伝え合うことで、学習がよくわかるようになったり、いろいろな活動がよりよくなったりします。みんなで支え合ひ、高め合える姿を楽しみにしています。

④『かんしゃの気持ち』

『かんしゃの気持ち』とは、「人からの親切や優しさに対して感謝の気持ちをもつこと」です。学校では、いろいろな人にお世話になったり、友達同士で助け合ったりします。人に何かをしてもらうのは、当たり前のことではありません。「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えることを大切にしてください。

⑤『くじけない心』

『くじけない心』とは、「最後まで諦めないたくましい心」ということです。学校では、難しいことや大変なことがあります。すぐに諦めるのではなく、自分なりに工夫しながら続けてほしいです。この続けることが、自分の成長につながります。皆さんの成長がたくさん見られることを期待しています。

今5つのことを話しました。今話したことの一番上の言葉を読むと、『そらたかく』となります。この言葉は令和8年度の長岡小の合言葉です。皆さんには、どこまでも広がる空のように、成長できる可能性がたくさんあります。空をどんどん高く上がっていくように、皆さんが成長していくことを期待しています。一緒に頑張っていきましょう。

長岡小学校教職員一同、子どもたちの成長を願ひ、教育活動を行ってまいります。令和8年度も、保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いたします。